

科目名		労働衛生工学特論	
科目責任者		東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>リスクアセスメントの考え方を理解して、環境中の有害物質について同定、評価、対策についてそれぞれを概説できるようにする。有害化学物質の作業環境管理の手法と作業管理の手法について概説できる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境中の化学物質の性状について概説できる。 2) 化学物質の吸入による有害性について概説できる。 3) 無影響量や最小影響量を概説できる。 4) 許容濃度について概説できる。 5) 環境中の化学物質の濃度測定法を概説できる。 6) 環境中の化学物質の濃度測定デザインサンプリングを概説できる。 7) 曝露の低減対策を概説できる。 8) 局所排気装置など作業環境管理について概説できる。 9) 呼吸保護具など個人用保護具の作業管理を概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で紹介する。労働衛生のしおり(中央労働災害防止協会)など		

授 業 項 目 (内 容)
環境中の化学物質の性状
化学物質の吸入による有害性
許容濃度と管理濃度
化学物質の濃度測定法
化学物質の濃度測定のためのデザインサンプリング
化学物質の曝露
曝露の低減対策
局所排気装置
個人用保護具